

# NPO法人ジャパンデンタルミッション

## 海外活動報告書

場所 ヴァヌアツ共和国・タンナ島

期間 2008年7月12日～7月21日

参加メンバー

(上段左から) 関根 淳(D) 大西 富子(H) 沢田 宗久(D) (ヴァヌアツ政府関係者) 上崎 秀美(D)

(下段左から) 萱中 寿恵(D) 山本 喜代(V) 川田 昌美(V) 羽原 佳子(D)

### 活動内容

7月13日(日曜日)

夜ポートビラにて東京組の関根・萱中と合流

14日(月曜日)

ポートビラに残って政府とミーティングする(Dr) 沢田、(Vo) 川田と、タンナ島先行隊に分かれた。

政府との話し合いについて9月ヴァヌアツ組がポートビラの医療専門学校で歯科口腔衛生のレクチャーを行う事が決まった

以前寄付した3万五千本の歯ブラシは島々に行渡ったが、数千本まだ足りないそう。どの様にレクチャーされているかはそこでの教育レベルに依存されている。今後理事会にてヴァヌアツで必要な4万本の歯ブラシをどうするか決める。政府は輸送費を負担する。

宿舎に関しては来年以降も病院の近くになる事を約束し有意義な話し合いとなった。



### タンナ島先行隊

宿泊場所が前回と違って Dr イソ・ナカの自宅になっていた。

病院の建て替えでスタッフの住居が無くなったため。

病院の建て替えは上手く行ってない模様  
歯科診療室の準備と食事の用意で半日過ごした。

15日(火曜日)



午前中：6時起床病院班は8時から診療。初日は患者が少なかった。  
本日サッカーのイベントがあるためとのこと。  
外回り班はディップポイントへ。  
サッカーボールと鉛筆、歯磨きの寄付。その後紙芝居にてTBI、そして検診  
途中車がぬかるみにはまって動けなくなったが、無事帰還。所要時間は4時間ほど。

午後：後発隊と合流。お昼はみんなで食べた。ラナケル小学校へ凧・カルタ等の文化交流の準備へ。

16日(水曜日)

病院チーム

午前はエキスト、午後はクリーニングが多かった。時間が空いた為、病院で歯ブラシを配り、TBIした。

ラナケル小学校国際交流チーム

午前中幼稚園、小学5年生までの歯科検診  
午後は6年生の歯科検診と国際交流。八尾西山本小学校からの手書きの凧を交換。その後八尾西山本小学校の生徒のリコーダー演奏のyumiyumiをヴァヌアツの小学生の歌とコラボレーション。



外回りチーム

予定と違う小学校。室内で検診。2年ぶり。  
問題なく検診出来た。

17日(木曜日)

病院チーム

JDMが来るインフォメーションがされてなかった事が発覚。患者は少なかったがクリーニングや充填が多かった。



外回りチーム

トゥフ学校へ。生徒数が200人以上いて歯ブラシが足りなかった。トゥフは16歳くらいの生徒までいて、ヴァヌアツの学校のシステムはどうなっているのか疑問がある。

ラナケル小学校チーム

午前中幼稚園と小学1年生TBIをした。紙芝居の媒体も非常に分かりやすかった。午前中

から午後にかけて交換する凧のペイントが行われていた。寄付したカルタは非常に好評で人気があった。午後は残りの生徒に TBI した。検診を終えたトゥメリが合流し、ビシュラマ語で上手に説明してくれた。

夜は希望者が火山を見に行った。今年は火山の活動が活発で迫力のある噴火が見られた。

## 18日(金曜日)

### 病院チーム

ティミーに変わってトゥメリが診療所を手伝ってくれた。スケーリングなど予防的な処置が多かった。

### 外回りチーム

予定には無かったが、去年行ったが今年まだ行ってないユピルメイ小学校へ行くつもりで出かけた。しかし小学校が休みで検診は出来なかった。飛行場の近くの別の小学校に変更し、検診を行った。途中、車がガス欠でエンストするハプニングはあったが、無事検診出来た。

### ラナケル小学校チーム



10時頃から凧の交換のセレモニーを行った。国歌と校歌の合唱があった。子

供たちも校長先生も非常に喜んでいた。午後からは診療所の片付けを行った。非常にスムーズに片付けが出来た。夜はかつてお世話になったヤオさんの招待でホームパーティーをして頂いた。非常に充実したホームパーティーでヴァヌアツ人の純粋な心に触れることが出来た。

## 19日(土曜日)

朝から宿舎と診療所の荷物をパッキングして倉庫に片付けた。その後昼の飛行機の時間までホ

ワイトグラスホテルにて各自休息をとり、お昼を食べてタンナ島を出発した。

ポートビラではジャイカ所長宅にて邦人の歯科検診を行った。その後ジャイカ職員や現地邦人と夕食を共にした。

## 20日(日曜日)

朝から政府倉庫の機材のチェックを行い、修理が必要なもの、9月チームに残すもの、持ち帰るものなど整理した。飛行機の時間までは自由時間となった。

夕方シドニーに到着し、今日はここで泊まり。

## 21日(月曜日)

午前中にシドニーを出発し、20:30に無事関空に到着した。

解散式の後、解散した。

## 総括

### 活動をささえるチカラ

これまでのタンナ島小学校での口腔衛生指導を含む歯科検診事業は、4校をターゲットに実施されてきました。厚生省関係者でタンナ島の責任者であるイソ・ナカ氏との協議において、より多くの子供たちへの口腔衛生指導の機会を得ることを目的に、これまで訪れていなかった小学校から毎年無作為に選ばれる1校を加えた合計5校への実施予定となりました。また、ヴァヌアツ政府の要請を受け、本年9月に実施予定のJDM講習会は、現地の教育関係者へ向けたもので、ヴァヌアツ国民への口腔衛生向上の重要性を啓蒙していく政府の積極的な姿勢を目の当たりにすることが出来ました。

こうした背景からも、現地スタッフとの充実した内容の濃い協議ができていくという実感を心得ており、まさに25年に渡るJDM活動の努力がいろんなカタチで実を結んできていることを改めて実感。これからのたくさんの子供たちの笑顔に出会えそうな予感。

### あらたな試み

タンナ島ラナケル病院での歯科治療は、遠方からの受診者に配慮して試験的に診療開始時間を30分早めました。診療開始時間の午前8時すぎから来院される方もおられ通院環境への整備が課題となりました。本年度チームも歯科技工士不在であったため、入れ歯製作が出来ない状況での活動となりました。これまで以上に、口腔内は特に問題なく虫歯になってないかのチェックを希望する患者、予防処置やクリーニングを要望する若者の来院が目立ちました。実際の処置内容においてもこれまでの抜歯処置に代わり充填・予防充填処置に比重が高い傾向がうかがえます。われわれが力を注いだ口腔衛生啓蒙活動が少しずつではあるが島民に浸透していることを肌で感じました。現地島民に多く見られる歯の着色、その一要因と考えられるカヴァ(南太平洋諸国特有の伝統的飲料)摂取などの食生活習慣に関しても、今後何らかの検討が必要と思われます。いわば「審美的な要求」の高まりや「予防的な概念」の確立を受けて、われわれの活動にも工夫を加えていく必要性が考えられます。タンナ在島のデンタルセラピストであるティミー氏らとの連携を深め、具体的な対策や活動をより充実させていくことが出来ればと思います。

### 交わる喜び

昨年度より始まった文化交流では、診療活動中の真剣な眼差しは一変し、参加メンバー皆の表情はとて穏やかでした。トラックの荷台に乗り移動するわれわれスタッフに流暢な日本語で「コンニチワ！」と元気に挨拶してくれたのはラナケル小学校の生徒達～日本の子供たちとの交流を心待ちにしてくれている様子でした。昨年に皆一緒になって一枚一枚鱗を描いた鯉のぼりを掲げてわれわれを歓迎してくれました。八尾市西山本小学校の5,6年生が製作してくれた凧とカルタは大変喜ばれていました。ヴァヌアツ流の遊び方(カルタの奪い合いを「競う」のではなく、皆で一枚のカードを「一緒に選ぶ」)で楽しそうにカルタを手にする子供たちのキラキラと輝く眼差し、そしてCDデッキから流れるヴァヌアツ国歌「ユーミン」～西山本小学校の子供たちが奏でるリコーダー演奏とラナケル小学校の子供たちの歌声が一つとなり、青く澄んだタンナの空に響き渡っていました。

人々の美しい笑顔、子供たちの楽しそうな声...

私たちが現地で目にして感じる事ができたこの喜びを、JDMの活動を日々支えてくださっているすべての方々へお届けしたいと思います。

たくさんのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

日付 処置	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	
抜歯	16	5	7	7	0	35 (歯)
充填	5	7	11	2	0	25 (歯)
予防充填	0	7	14	4	0	25 (歯)
義歯修理	1	0	0	0	0	1 (床)
スケーリング	0	9	17	4	0	30 (人)
その他	2	0	0	4	6	12 (人)
来院数	19	18	28	17	6	88 (人)

学校名	日 程	受診生徒数	C1(本数)	C2	C3	C4
DIPPOINT	7月15日	128	74	20	19	18
IAVENKULA	7月16日	90	28	15	4	4
TUFU	7月17日	169	20	24	9	15
LANAKEL	7月17日	132	85	67	21	9
CHRISTAIN	7月18日	30	32	5	0	0
	4日	549	239	131	53	46